

## 世界最大の選挙でモディ首相率いるインド人民党が辛勝 与党は議席数を減らすものの、インド経済の堅調な成長見通しは変わらず

### パワフル・インド（政策関連） ～モディ3.0始動～

#### ▶ インド人民党が勝利

2024年6月4日、インド下院総選挙が開票されました。事前の出口調査では、モディ首相が率いる与党・インド人民党（BJP）が単独過半数の議席を維持すると予想されていましたが、達成できませんでした。過去（2014年、2019年）とは異なり、第3次モディ政権は、これまで積極的に推進してきた経済改革や政治改革を、今後は新連立政権に委ねることになります。そのため、開票後のインド株式市場は、選挙結果が経済成長の妨げになるものと一時受け止められたようで、急落する場面がありました。

確かにBJPは議席数を減らしたものの、逆にこの選挙結果は、世界で最も人口が多く、最も急速に成長している国の長期的な発展にとって、非常に重要であることが証明されるかもしれません。というのも、ヒンドゥー至上主義を掲げるBJPが、より柔軟な政策立案を行うようになり、民主主義が活性化すれば、インドの成長はさらに加速するかもしれないためです。

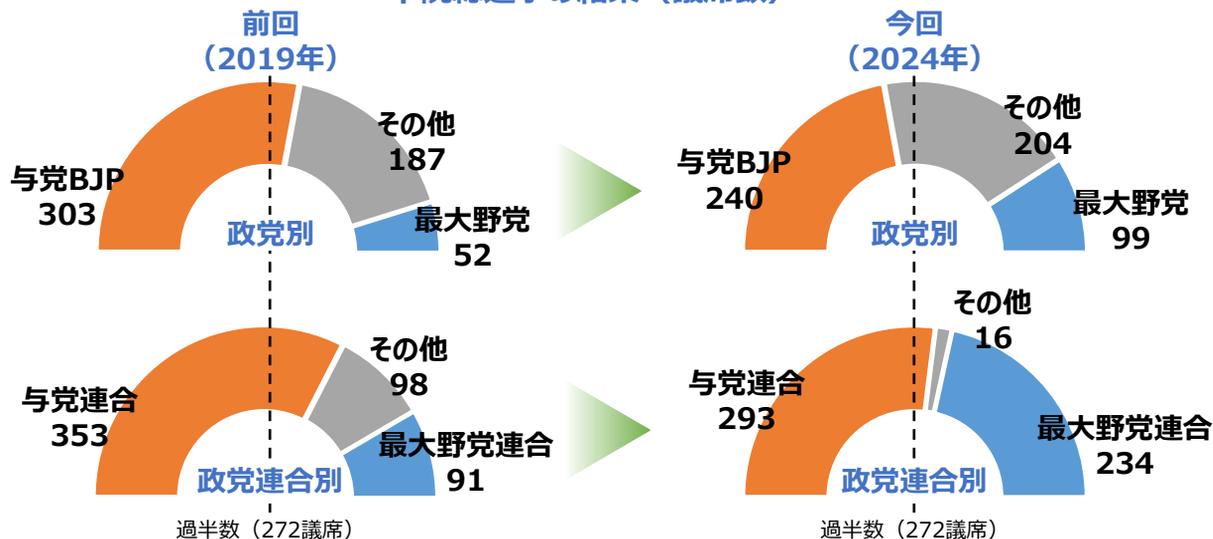
#### ▶ フィッチ・レーティングスはインド経済の見通しにポジティブ

開票翌日の6月5日、格付機関フィッチ・レーティングスは、「政府の設備投資促進や銀行・企業のバランスシート改善に支えられ、インドの力強い中期的成長見通しは維持されると予想」とし、インド経済に「ポジティブ」な見通しを強めました。「ただし、今後の改革が困難または、改革のペースや効果が妨げられる可能性がある場合は、成長は鈍化する可能性もある」として、注意もしています。

#### ▶ インド経済の内需主導による高成長期待は変わらず

モディ首相は、これまでインド独立100周年に当たる2047年までに同国を先進国入りさせると公約しており、その為に必要な前提条件とされる年8%以上の成長に対しても暗雲が立ち込めています。しかしモディ首相は当日4日に勝利宣言を行い、この公約を改めて表明しています。一部エコノミストの見方では、成長を後押ししてきた同首相のインフラ支出は、ペースこそ落ちる可能性があるものの、継続すると予想されています。

下院総選挙の結果（議席数）



出所：各種資料を基にパインブリッジ・インベストメンツ作成。

## ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会